

2025/4/9 (水)

朝の礼拝

聖書 ペトロの手紙 一 5章 7節 (新約聖書 424 頁)

一切の思い煩いを神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心にかけていてくださるからです。

Casting all your anxiety on Him, because He cares for you.

寄り添う

冒頭に「一切の思い煩いを神にお任せしなさい」とありました。この「思い煩い」を主な 24 の英語訳で比較してみると **Worry** が 5, **Care** が 8 ですが、他の 12 が **Anxiety** です。**Worry** や **Care** は「心配」で心を配ると書きますが、一方 **Anxiety** は「不安」という意味です。何かに驚き、恐れと緊張からの不安をあらわしています。

例えば昨日の始業式でお話した「追い剥ぎに襲われた人」の話ですが、最初に祭司とレビ人が瀕死の人の反対側を通り過ぎましたね。何をしても無理だと、面倒なことに巻き込まれたくないと思ったのでしょうか。もちろん周りの状況も危険かもしれませんが、恐れと緊張が走り、不安が広がったのかもしれません。

でもサマリア人は見て近寄りました。サマリア人も驚き、危険を感じ、緊張したと思います。でも彼は何を不安に感じたのでしょうか。それは彼が「油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分の家畜に乗せ、宿屋に連れて行って介抱した」という行動でわかります。彼が不安で、心配していたのは自分のことでなく襲われた人の回復でした。

私は入学式で、神様が大切なもの、必要なものは備えて下さっているとお話しました。そして生徒会長も歓迎の辞で、私たちはすでに英和の生活で聖書の言葉に励まされていると語り、エールを送っていました。

不安や心配のない人など誰もいません。大切に、必要なことはすでにあると信じ、ただ心を砕いて隣人に寄り添うだけです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、いよいよ新年度が始まり希望を抱きつつも、不安や心配なこともあります。こころもからだもフリーズする時もありますが、新しい出会いと交わりの喜びに与らせてください。どうか積んでは崩れ、崩れては積みながらも、慰め、励まし合いながら歩ませてください。どうか今日一日も、すべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン